

えきまえプラス開催報告

1. 実施概要

自由が丘エリアプラットフォームの設立と自由が丘未来ビジョンについて、広く知っていただくため、駅前広場全体を活用するイベント“えきまえプラス”を開催しました。

この“えきまえプラス”では、“交流・滞留機会の創出”の観点から、タクシープールを人が集まる場として活用するポスターセッション・街なかシンポジウム、“滞在快適性の向上”の観点から、女神広場でのアートイベントを同時開催しました。

実施概要

- 実施日時：令和5年3月12日（日）13:00～17:00
- 実施場所：自由が丘駅駅前広場
- 天 気：晴れ
- 気 温：18℃
- 風 速：4m/s



■ポスターセッション&街なかシンポジウム&未来の自由が丘を描こう(主催:目黒区)

「自由が丘未来ビジョン」を広く知っていただくため、屋外での公開シンポジウムとともに関連するポスター展示を行いました。また、未来の自由が丘について、子どもたちみんなで大きな1枚の絵を描いてもらいました。

- ①ポスターセッション(13:00~17:00)、②街なかシンポジウム(15:00~16:00)、③未来の自由が丘を描こう(13:00~17:00)

■アートイベント(主催:自由が丘商店街振興組合・㈱ジェイ・スピリット)

- ①-REMEMBER- 子どもたちとつくるライブペイント(13:00~17:00)

評価されることを忘れ、自由に絵を描く楽しさを思い出すための観客参加型ライブペイント

- ②短時間で絵を変化させながら物語を描き綴るアートパフォーマンス(14:30~15:00/16:30~17:00)

偶然と必然の中、キャンバス上で次々と変化していくアートパフォーマンス

- ③街を回遊し子供たちの視点で街の写真を撮る子供カメラマン(13:00~14:30/15:00~16:30)

プロのカメラマンにカメラの魅力を学び、街を回遊しながら好きな写真を撮るワークショップ

2. 事前周知等

えきまえプラスの実施に際して、以下の方法で事前周知等を行いました。

- 街づくりニュースの配布
- 自由が丘新聞、自由が丘経済新聞、ホイップるんの自由が丘壁新聞
- 目黒区広報
- 各ホームページへの掲載（自由が丘商店街振興組合、目黒区）
- 目黒区公式 LINE、Twitter での発信
- 碑文谷警察署への周知、道路使用許可取得

など

3. 当日の様子

①ポスターセッション

ポスターセッションでは、「自由が丘未来ビジョン」の冊子を配布するとともに、大型パネルに未来ビジョンの概要を掲示し、来街者へ説明を行いました。

また、未来ビジョンに掲載する5つの目標について、どの目標が最も重要と考えるか、シールを貼って投票してもらいました。投票では、「①楽歩」が46件（34%）と最も多く、次いで、「④防災」が31件（23%）という結果となりました。

●未来ビジョン冊子配布数：約 250 冊

●シール投票：135 件

【内訳】

- ①楽歩 46 件（34%）、 ②緑装 26 件（19%）、 ③多様 23 件（17%）、
- ④防災 31 件（23%）、 ⑤先進 9 件（7%）



ポスターセッションで頂いた主な意見

- ・今日のような場で、情報を得ることができて本当によかった。
- ・他の街に取り残されないように再開発などをするのは良いと思うが、自由が丘らしさを残すためにも、自由が丘の「文化」を大事にしてほしい。
- ・街に外国人のかたなどが増え、多様性を感じる街になるとよい。
- ・今は自由が丘に人が来ている。ただ二子玉川や武蔵小山に客を持っていかれている気がする。今のうちに手をいれるべきという意見には賛同する。1-29の再開発が起爆剤となってほしい。
- ・今の街づくりは商業活性をメインに考えているように見える。住民のことも大事にしてほしい。
- ・30年後と言わず、できるだけ早く各事業を実施してほしい。
- ・都市計画道路整備を早く進めるべき。
- ・127号線が拡幅されることは知らなかった、とても良いこと。バスも通り本当に危ない。
- ・自由が丘駅周辺の道路整備を進めて欲しい。電柱を地中化して欲しい。
- ・送迎車が多く対策が必要。駐車できる場所も用意すべき。
- ・一時的に駐輪できる場所がない。駐輪できる場所がないのに、撤去されることに納得がいかない。
- ・模型について、テントや椅子があっても食べ物を売る店がないと賑わいが生まれえないのでは。
- ・鉄道で街が分断されている。鉄道立体化し、地域の分断がなくなることを望む。
- ・これだけ沢山やることがあると、区だけではできない。エリプラ全体で取り組むことは納得する。

②街なかシンポジウム

まちなかシンポジウムでは、「都市計画道路補助127号線整備に関する検討模型」を展示し、卯月教授（早稲田大学 社会科学総合学術院 社会科学部）に司会進行をしていただき、駅前広場及び都市計画道路補助127号線の整備に関する意見交換を行いました。ポスターセッションやアートイベントを見に来ていた一般の来街者の方にもご参加いただき、22名程度の参加がありました。



③未来の自由が丘を描こう

未来の自由が丘を描こうでは、お子様を対象として、自由が丘駅の「ひろば」、「えきしゃ」、「えきまえ」の3について将来の姿を描いてもらいました。運営に際しては、自由が丘商店街振興組合の青年部の方々に御協力いただくとともに、参加いただいたお子様には、自由が丘商店街振興組合、東急電鉄、目黒区等から提供いただいたSDGs関連のグッズをノベルティとしてを差し上げました。



④アートイベント

アートイベントでは、自由が丘商店街振興組合の協力によって、3名のプロのアーティストをお招きしてお子様に参加できるライブペイントや、鑑賞型のアートパフォーマンスを行いました。

